

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

札幌にわっさむの元気情報を発信

vol 15



和寒町の情報を札幌市民に向け発信し、「自然の恵み野 和寒町」をPRするとともに、都市と農村の交流人口拡大を図ることを目的に札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送をおこなっています。放送日は毎月第4火曜日午後2時～2時30分（30分間）です。

■「月刊わっさむ」8月26日 第42回放送 嗚呼ワットサム 青山康俊さん、小原夏季さんがゲスト出演

ヨサコイチーム『嗚呼ワットサム』から、お二人に和寒町の元気を発信していただきました。

「今年のYOSAKOIソーラン祭りでは、チームのシンボルである赤い傘が強風で壊れてしまい、和寒から届けてもらった」などのエピソードを披露し、また、10月5日に開催される「ハートフルステージ」について、「なかなかヨサコイを見る機会がない人たちにヨサコイを堪能してもらいたくて企画しました。たくさんのチームを呼んで盛り上げますので、ぜひお越しください。」と呼び掛けました。



■「月刊わっさむ」9月23日 第43回放送 野菜組合連合会会長 鈴木隆紀さんが電話中継

「わっさむパンプキンフェスティバル2014」のPRのため、稲刈りの合間を縫って電話出演していただきました。

「南瓜のつかみどりや熱気球搭乗体験のほか南瓜汁や塩狩峠そばの試食コーナーなど、たくさんのお店で秋の味覚を楽しめます。」

「わっさむペポナッツという新たな特産品の料理実演会が開催されます。町内の農家も南瓜をはじめたくさんの野菜を用意してお待ちしていますので、10月12日はぜひ和寒町にお越しください。」と呼び掛けました。



■「月刊わっさむ」10月28日 第44回放送 家具工房たいむ 佐藤順一さんがゲスト出演

平成20年に和寒町に移住され、旧中和小学校を活用してオーダーメイド家具の製作をおこなっている、家具工房たいむ 佐藤さんから「和寒町の知り合いに紹介してもらって今の場所を借りることができた。と廃校利用のきっかけが話され、「エゾシカの皮を使った家具の試作や天塩川周辺の市町村でククサというカップを作ろうという話があり、町木のニシを使って作ろうと考えています。これからは一緒にものづくりができる仲間を増やして、同じ和寒町で職人として活躍する人が増えていけば良いなと思っています。」と今後の展望を話され、ぜひ廃校を利用した工房を見に足を運んでくださいと呼び掛けました。



☆三角山市場で農産物販売☆

9月27日(土)、札幌市西区の琴似駅裏にある三角山放送局で「第27回三角山市場」が開催され、恵みの市から農産物を持って販売してきました。市場の開始前から行列ができ、あっという間に売り切れてしまうほどの人気で、来場者からは「次はいつ来てくれるの?」「毎回来て欲しい。」という声が相次ぎました。



◆放送を聴くためには

放送を見たり聴いたりするためには、三角山放送局のHP (<http://www.sankakuyama.co.jp>) でご覧になれます。また、過去の放送内容は、図書館で聴くことができます。

札幌市内(西区周辺地域)でラジオ番組を聴くには、周波数FM76.2MHzに合わせてください。

■番組のお問い合わせは役場総務課まちづくり推進係 (TEL32-2421) まで